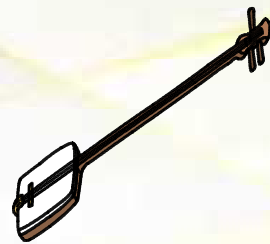


津 軽 三 味 線 さ さ 弾

一撥一音に心を込め、津軽の魂を現代へ…
三人が織りなす力強くも繊細な音色…
内の倉ダムの大空洞で激しい音色…
力強さと繊細さを併せ持つ日本の心です…
迫力ある響きは、太棹ならではの豊かな音色体感…



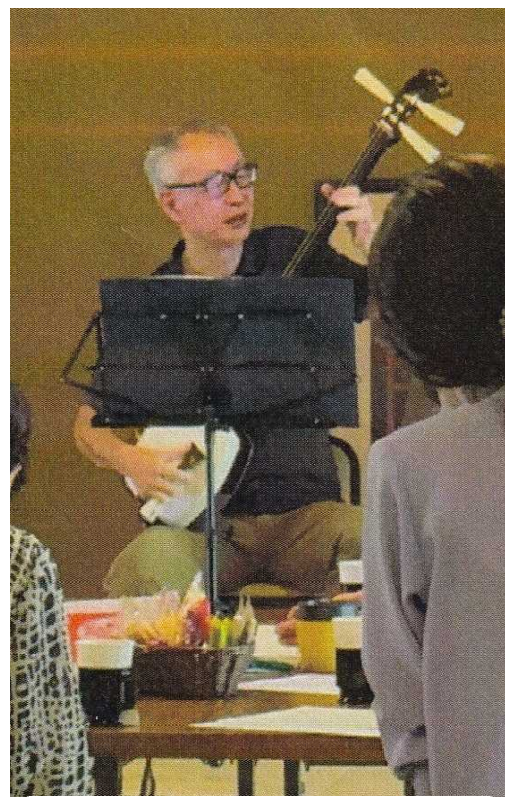
★ 井村末子（秋葉区）

井村家に嫁いで暫くした時、夫の母より友達作りにと三味線を勧められた事がきっかけで始めました。木田流の三味線を習い、その後は歌や踊りに民謡全般を楽しませていただいております。あちこちで演奏させていただき、元気のもととなっています。



★ 信田サト子（阿賀野市）

遊び感覚で始めた三味線でしたが、木田流の良き先生にも恵まれ、目標にもたどり着きました。それに甘んじることなく、ここからがむしろ勉強と思っております。お声がけをいただく機会も多く、お友達と一緒に、施設訪問やお祭りなどで演奏させていただいております。



★ 小林敏夫（新発田市）

新発田祭りの下町台輪で楽士会として三味線を弾いていました。60歳を過ぎ津軽三味線を習い始めて3年。もともと楽器が好きで、ギターやウクレレを弾いておりましたが、三味線は糸が3本しかないのに一番難しく感じ、奥深さを痛感。これからもずっと続けていきたいと思っています。